

明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団
 連絡先 〒272-0015
 千葉県市川市鬼高2-8-2
 TEL・FAX 047-332-5698
 E-mail:mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
 http://ms-64.web.infoseek.co.jp/
 働くルールの確立で人間性の回復を！
 No. 0709号 (07年1月30日)



07年、新春のお慶びを申しあげますと共に、明治乳業争議へのご理解とご支援に、改めてお礼を申しあげます。

さて、今年は一斉地方選挙から参議院選挙と一大政治戦の年でもあります。格差の深刻な拡大や、戦争の国造りへの危険な策動との闘い等、まさに、日本の将来に関わる重要な節目の年ではないでしょうか。

そして、23年目を闘う明治乳業争議も今年には極めて重要な局面を迎えます。中央労働委員会の「不当命令取り消し



明治乳業争議支援共闘会議
議長 池ノ谷忠敏

今年「全面解決」に向け 待ったをして勝負の年！

「承知の通り、「不二家」の不祥事発覚など、「食の安全・安心」に対する消費者の信頼が裏切られ、改めて、企業倫理や社会的責任が厳しく問われていますが、乳業界トップ企業である明治乳業の中で、差別・人権侵害が40年余も続いている等は、絶対に許されるべき問題ではありません。

働く者の人権が守れない企業に、「食の安全・安心」は期待できないからです。

明治乳業争議支援共闘会議は、司法の場でも、企業包囲の闘いでも、今年が正念場と位置づけ、都労委で奮闘している「全国事件」も併せ、全面解決への道筋を切り開く決意で頑張ります。皆様のご支援を重ねて要請いたします。

訴訟」を闘う東京高裁で、判決を3月28日に控えています。が、弁護士や争議団の奮闘によって獲得した審理の到達点に基づき、勝利判決の獲得に向け全力で奮闘しているところです。

〇七「闘争者」への 聖なる新年を

浅野社長殿

浅野社長には、07年の新しい年をいかがお迎えでしょうか。謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、争議全面解決への決断を心から要請いたします。

私達は、東京高裁判決を全面解決への重要な節目と位置付け、これを契機に都労委の全国事件をも含めた「全面一括解決」を目指して奮闘する決意です。

全面解決への決断が、経営陣の責任で速やかに行われることを、年頭にあたり改めて要請する次第です。



浅野社長宅前

07年「団旗びらき」 盛大に開催される

07年「争議団旗びらき」が、東京労働会館ラパスホールにて盛大に開催されました。3月28日に、「東京高裁判決の言渡し」の年とあって、これまでの審理の到達を踏まえ「勝利判決」に確信をもち、やるべき課題はすべてやり切ろうと、参加者一同決意にみなぎる集いになりました。



東京高裁から「判決」
07年3月28日(水)
101号大法廷(午後2時)

都労委「第6回調査期日」
07年2月21日(水)
午後1時30分～

団体署名にご協力を
高裁宣伝・8時30分～
高裁要請・9時40分～
当面日程
2月7日、2月19日

「民主文学」を是非！
年の暮れに思い立って「このまま人生終わられない、大企業の横暴と闘う明治乳業争議団22年の闘い」というルポを書きました。12月4日に結審、3月28日に判決言渡しが決まった長期大型争議への理解と支援の輪が少しでも広がることを願っています。『3月号』に掲載される予定。ご協力を。(山形暁子)

団員レポート記



二員 酒井 俊平

昭和40年静岡工場に入社、当時の入社試験に使われた机は「卓球台」だったとは驚き。「寮完備」だった朝食は牛乳一本とパン一個に変身と振り返る。野球部・柔道部で鍛えられた体力を買われ冷感庫職場に配属され腰痛が「持病」になったと。福利厚生も作業環境も最悪な状態から、「職場要求」を掲げ、多くの仲間と労働組合運動へ活発に参加した結果、「話をするな」「親しくするな」と監視、「村八分」にされた悔しさを滲ませた。彼の仕事振りや改善提案等の実績から、彼に聞けば何でも解るとまで職場の仲間から信頼されてきた。

一方、全国野球協議会の役員として、「スポーツ・君が主人公」「スポーツは平和とともに」のスローガンを掲げ、静岡で野球の普及と愛好者間の交流・親睦に力を注いでいる。昨年11月、地元で開催された「第40回全国軟式野球大会」で、見事に運営委員長の大役を果たしたと誇らしく胸を張った。

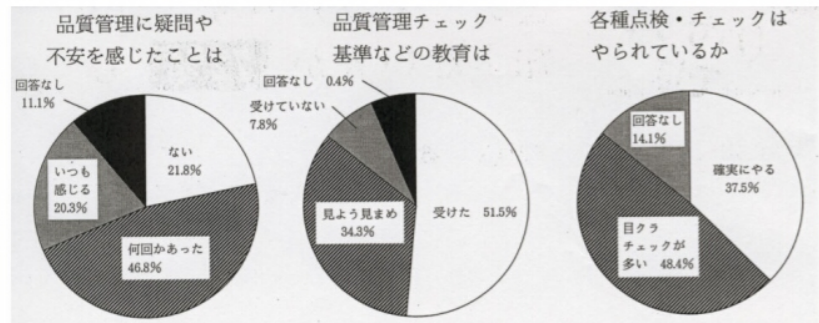
昨年10月定年退職、ならず者のレッテルを貼られたまま人生終われないとし、都労委闘争の一人として奮闘している。今一番心している事は、苦勞かけた奥さんと旅行すること。プロゴルファーの息子の夢、自分のレベルを上げて一緒にラウンドする事。頑張れ！

皆様に「募金の訴え」
都労委闘争への全国からの上京資金にご協力を宜しくお願いします
郵便振込み番号
00170-7-555867
加入名
「食の安全と職場を考える実行委員会」

「不二家」だけの問題ではない、食の安全も関係も

背景に共通しているのは、企業が社会的責任や倫理・モラルを放棄し、コスト削減と利潤第一主義に走ったときに起るということです。

「食の安全」は、消費者・国民の生命と健康に直接かかわる大きな問題です。明治乳業争議団は、「食の安全」を守ることを併せ追求しています。シンポジウムの開催、パンフレットの発行、同デスクの発行、省庁・量販店要請などをくりかえしてきました。



雪印事件直後は、自分たちが働く職場は食の安全を守ることができるとの全社対象のアンケートを実施。それをまとめた冊子「おびやかされる『食の安全』」安全・品質に責任もてる労働のルールを職場に」を発売。

雪印事件直後に、自分たちが働く職場は食の安全を守ることができるとの全社対象のアンケートを実施。それをまとめた冊子「おびやかされる『食の安全』」安全・品質に責任もてる労働のルールを職場に」を発売。

「3人に2人が品質管理に疑問や不安」「人手不足で手抜き作業も」「疑問があっても発言すると損をする」「作業標準守ったら仕事やりきれない」など食品企業として致命的ともいえる声が…。

今こそ全ての食品に関わる企業は、自社のコンプライアンスの実態を率直に把握し倫理の再構築をして失墜した信頼の回復に真摯に取り組むべきです。

命に関わる被害が出てからでは遅すぎます。



「格差」「不当労働行為」の事実が鮮明に

「格差」「不当労働行為」の事実が鮮明に

ゆらぐ「食の安全」企業倫理の崩壊は深刻

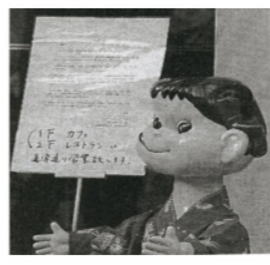
「格差」「不当労働行為」の事実が鮮明に

食の安全監視、何を隠そう「組織ぐるみ」の犯罪行為であった。新年早々、大きな問題となった不二家による一連の不祥事。

消費期限切れの牛乳を使用してシチュークリームを製造したのを皮切りに、期限切れ使用は常態化しており、期限の表示月日そのものを延ばしていたことも明らかにされています。

基準を大幅に上回る細菌数を検出しながら出荷。検査記録が「無限」とあるものまで出荷販売していたといえます。

一連の事件を、不二家は公表せず隠ぺいす



こうした、食の安全に関する不祥事、不正行為は一人、不二家だけに固有の問題ではありません。00年には雪印乳業がブドウ球菌による集団食中毒事件で一万三千人が被害にあう大惨事を起こしています。また牛肉偽装事件では同社の子会社、雪印食品が倒産の憂き目にあっています。

かつて35年前、牛乳に異種脂肪を混ぜて国会でも追及された明治乳業は、雪印事件以降も大腸菌群に汚染された脱脂粉乳を再利用した「食品衛生法違反」をはじめ、産地偽装の牛乳を製造する契約違



反。本来投入されるべき乳酸菌が入らないの

また「会社の体質に重大な問題があった」として辞任する事態となりました。

まさに食の安全や労働者を犠牲に、企業の利益を最優先してきた体質が今回の事件を招いたことは明白です。

「格差」「不当労働行為」の事実が鮮明に

23年目の春を迎えた明治乳業争議。市川工場事件の高裁判決を3月28日に控え、「明治乳業の異常企業体質を断罪する勝利判決を！」の決意を一つに、公正判決を求める団体署名の取り組みを軸に、審理の到達点に基づく事実認定と判断を求め、高裁宣伝・要請行動に取り組んでいます。

重要争点の一つは、「格差」の認定です。申立人らは「特異な勤労観」人らはマル秘資料で明白な、「赤組」「白組」「雑草組」という明治乳業の従業員管理を基に、年間百万円を超える同期・同僚格差を一貫して立証してきましたが、会社主張の「コース別人事制度」を全面的に認定する事で、集団間格差の存在が否定され続けたのです。しかし、高裁では、申立人らが属する「一般昇格コース」内での「格差」をも否定した地裁判断に対し、「当審での新たな争点」との積極的な訴訟指揮を勝ち取り、地裁が事実誤認した「一般昇格コース」内の格差が明確になったのです。

次の争点は「何が故の格差か」です。明治乳業は、申立人らを「特異な勤労観」に基づく異常な労組活動家集団に仕立て上げ、「健全な組合活動」を求める労働者集団との対立抗争を描く等、「労労間の対立」があったと管理を基に、年々会社関係とを否定します。しかし、「インフォーマル組織」が会社関係のもと全国的に一致に結成された実態や、労組役員選挙への介入、差別・排除の赤裸々な「実行計画」等が、多くのマル秘資料によって鮮明になったのが立証の到達点なのです。争議団は、「勝利判決」への確信と決意を新たに、高裁判決を節目とする全面解決への闘いに全力で取り組んでいます。